

2026 年度 事業計画

2026 年 4 月 1 日から

2027 年 3 月 31 日まで

BEYOND
OH!
PROJECT

2026 年度事業計画書

I. 当法人の理念・目的

当法人は、「野球界に関わる組織及び団体が一体となって子供達に夢と希望を与える世界的ヒーローが野球界・スポーツ界から生まれる未来を創造し、これからの世の中の永続的な発展に貢献すること」を目的とする。

野球およびスポーツは、子どもの健全な成長、世代間交流及び地域社会の形成に資する文化的基盤であるが、少子化や生活様式の変化により、体験機会の減少、地域格差、指導環境の偏在等の課題が生じている。これらは個別団体の取組のみでは十分な対応が困難である。

このため当法人は、野球界に関わる主体が協働する基盤を整備し、参加機会の創出、継続的関与の促進、人材育成及び国際交流を推進することにより、不特定多数の利益の増進とスポーツ文化を支える環境整備を図り、持続可能な公益的基盤の構築に寄与する。

II. 事業環境認識

我が国の野球・スポーツを取り巻く環境は、競技人口の減少、地域コミュニティの希薄化、体験機会の格差拡大により、団体単独では解決が困難な構造的課題を抱えている。特に、子どもが野球に触れる機会の減少は、将来の参加者及び支援者の減少につながり、スポーツ文化の持続性に影響を及ぼしている。

従来、野球は社会的共通体験を形成する文化的役割を担ってきたが、社会構造の変化により自然発生的な関心の広がり依存する状況から、意図的な機会創出を要する段階へ移行している。また、スポーツは地域交流や人材育成等の公益的機能を持つ一方、プロ・アマ・教育・地域の各主体がそれぞれの枠組みの中で活動してきたため、統合的な取組が十分に行われにくい状況にあった。

その結果、普及、指導者育成、地域連携及び国際交流の各分野において個別の取組は存在するものの、社会的効果の最大化には至っていない。今後は、機会創出から継続参加までを一体的に設計した循環型の仕組みを構築し、社会全体でスポーツ文化を支える基盤形成が求められる。

以上を踏まえ、当法人は、野球界の連携を促進する中核的立場として、横断的かつ継続的な取組を推進する。

III. 事業計画策定の前提

計画2期目となる2026年度は、法人設立時に構想を公表した取組・プロジェクト「BEYOND OH! PROJECT」の具体化を前提として策定する。

IV. 事業計画内容（取組・プロジェクト）

マクロ課題に対する打ち手として以下の事業を実施する。

〈公1〉野球・スポーツを通じた子ども・未来創造に関する事業

1. **普及振興事業**（主たる対象者：広く一般の子ども）

本事業は、野球及びスポーツへの参加機会の拡充を通じ、子どもが幼少期から野球に親しみ、将来にわたり「観る・する・支える」立場として関わり続ける基盤を形成することを目的とする。

1-a. BEYOND OH! PLAY KIDS（幼少期原体験プロジェクト）

野球未経験の子どもを含め、親子で参加できる体験型イベントを実施し、野球との触れ合いの機会を提供する。

■ 主催/共催

野球やボール遊びがはじめての親子が一緒に楽しめるイベント（参加者 1000 名超の規模）をプロ・アマ一体運営の形で、BEYOND OH! PLAY KIDS を年数回主催・共催する。

- ① 2026 年 6 月 14 日（日）：大学野球選手権大会期間中@明治神宮球場
- ② 2026 年 7 月 28 日（火）～7 月 29 日（水）：マイナビオールスターゲーム 2026 期間中@富山市民球場

※参考 前年開催時の参加者規模

【イベント名】BEYOND OH! PLAY KIDS

【実施日】2025 年 11 月 15 日（土）、16 日（日）

【実施場所】

東京ドーム、ラクーアガーデンステージ、セントラルパーク

【来場者数】

- ・東京ドーム 計 1421 名
- ・ラクーアガーデンステージ約 1500 名(2 日間)
- ・セントラルパーク約 3200 名(2 日間)

■ 連携/後援

以下等、各団体主催の普及振興イベントとの連携・後援を行う。

- ① 甲子園キッズフェスタ
 - ✓ 主催：阪神甲子園球場（阪神電鉄）
 - ✓ 日程：2026 年 5 月 6 日（水）
 - ✓ 場所：阪神甲子園球場
- ② 栃木市杯第 6 回栃木さくらカップ 2026
 - ✓ 主催：栃木市・株式会社エイジェックススポーツマネジメント
 - ✓ 日程：フリーの部 2026 年 3 月 14 日～15 日
 - 小学生の部 2026 年 11 月 7 日
 - 中学生の部 2026 年 9 月 5 日～6 日
 - 高学生の部 2026 年 10 月 31 日～11 月 1 日
 - BB フェス 2026 年 7 月 25 日
- ③ 第 32 回 シグマイン全国少年少女野球教室
 - ✓ 主催：日本プロ野球OBクラブ（公益社団法人全国野球振興会）
 - ✓ 日程：2026 年 4 月から 7 月迄

- ✓ 場所：47 都道府県 47 会場

1-b. BEYOND OH! PLATFORM（プラットフォームプロジェクト）

子ども及び保護者が安全に継続的に野球へ関与できるよう、情報発信及び共有の基盤となる Web・アプリ等を整備し提供する。

■ 整備・提供内容

ユーザー満足度の向上を重視し、以下の機能を段階的に拡充する。

- ① 普及振興イベントの情報提供機能
 - ✓ 地域別・年代別検索機能
 - ✓ 体験会、大会、野球教室等の開催情報掲載
 - ✓ 主催団体による直接投稿・更新機能
- ② 野球チーム情報の提供機能
 - ✓ チーム活動方針、指導体制の掲載
 - ✓ 活動日時、費用、対象年齢の明示
- ③ ボール遊びや野球が可能な公園・施設等のマップ情報提供機能
 - ✓ 公園・グラウンド情報の地図表示
 - ✓ ユーザー参加型の情報更新
- ④ 野球ガイド機能
 - ✓ 初心者向けルール解説
 - ✓ 用具の選び方
 - ✓ 安全対策・怪我予防情報
 - ✓ 年代別育成に関する基礎情報
- ⑤ 保護者向けコミュニティ機能（ブログ、掲示板等）
 - ✓ 保護者同士の情報共有
 - ✓ Q&A フォーラム機能

■ 連携体制

各団体及び地域野球協議会等と連携し、業界横断的な利用促進活動を実施する。

- ・ 地域野球協議会との情報共有
- ・ 大会主催団体との掲載連携
- ・ チーム登録促進キャンペーンの実施
- ・ 関係団体への周知活動

1-c. BEYOND OH! START（野球用具展開プロジェクト）

学校等へ野球用具を提供するとともに体験型キャラバンを実施し、初めて野球に触れる機会を創出する。

- 数年間かけて 47 都道府県を巡回するキャラバン企画を実施する。

- 球心会アンバサダー、地域の野球協議会と連携

1-d. BEYOND OH! Pass the Baton（野球用具循環プロジェクト）

使用済み野球用具を回収し、福祉施設、少年野球チーム等へ提供する取組を実施する。

- 中古グローブを集めて、福祉施設・少年野球チームに配る企画をプロ・アマ各団体と連携して行う。
 - 一般社団法人日本未来スポーツ振興協会と連携

2. 地方創生・環境整備事業（主たる対象者：地域）

地域におけるスポーツ環境整備を通じ、地域活性化及び持続可能な地域づくりに寄与する。

2-a. BEYOND OH! BALL PARK（地方創生ボールパーク開発プロジェクト）

中央省庁、自治体等と連携しながら、子どもたちが野球やスポーツに親しめる環境整備に関わる取組を行い、地域の持続的な発展を支援する。

- 地方での環境整備企画第一弾企画として、地方自治体や企業と連携の上で、屋内型のボール遊びができるスペースを企画運営する。

3. 指導者育成・教育事業（主たる対象者：指導者及びスポーツ関係者）

指導者及び関係人材の育成教育を実施し、安全で質の高い指導環境の確保を図る。

3-a. BEYOND OH! NEW COACH（指導者育成プロジェクト）

指導者がビジョンおよび教育観を持ち、時代に即した指導方法や、子どもの発達段階および適性に応じた指導を学び、実践できるよう、優れた指導者の知見共有や研修の機会を提供する。

- 先進的な取組をしている方々をスピーカー・討論者に迎えての以下テーマのセッションを組み込んだフォーラム開催する。（2026年12月頃、参加者1000名超の規模）

3-b. BEYOND OH! Education（人材教育プロジェクト）

野球界の選手・関係者および将来の野球界を支える人材教育の機会を提供する。

- ビジョンパートナー企業とのコラボレーションイベント・講習会を開催する。
 - 野球界アスリート向フィナンシャル教育（野村証券株式会社）
 - 子ども達向野球界のお仕事インタビュー（株式会社ビズリーチ）

4. 国際交流・価値創出事業（主たる対象者：国内外の子ども及びスポーツ関係者）

スポーツを通じた国際交流を推進し、日本のスポーツ文化の理解促進と人的交流の拡大を図る。

4-a. BEYOND OH! ASIA（アジア普及振興プロジェクト）

中長期的な国際的拡がりを見据え、アジア地域における国際交流および普及活動の実施等から着手し、野球を通じた国際的な人的・文化的交流を促進する。

- 先進的な取組をしている方々をスピーカー・討論者に迎えての以下テーマのセッションを組み込んだフォーラムを開催する。（2026 年 12 月頃、参加者 1000 名超を想定）